

(1) 保存地区の概要

地 区 名	美馬市協町南町
種 別	商家町
面 積	約5.3ヘクタール
選 定 年 月 日	昭和63年12月16日
特 徴	美馬市協町南町伝統的建造物群保存地区は、徳島県の中央、吉野川北岸に位置する。江戸時代より阿波藍の集散地として繁栄した。18世紀初頭以降の各時期の町屋が数多く残り、かつての繁栄をよく示している。町屋は本瓦葺・大壁造の重厚な構えと装飾的な「うだつ」などに特色がみられる。



(2) 保存地区のあゆみ

昭和61年度(1986)	伝統的建造物群保存対策調査「南町町並み保存会」発足
昭和63年度(1988)	「協町市街地景観条例」制定 「協町南町伝統的建造物群保存地区保存計画」策定 『重要伝統的建造物群保存地区』選定
平成元年度(1989)	修理・修景事業スタート 協町郷土資料館完成
平成8年度(1996)	電線地中化事業(～平成10年度) 「協町うだつの町並みボランティアガイド連絡会」発足
平成11年度(1999)	「吉田家住宅」観光拠点整備事業(～平成13年度)
平成14年度(2002)	道の駅「藍ランドうだつ」完成
平成19年度(2007)	華道家假屋崎省吾「うだつをいける」開催
平成27年度(2015)	観光交流センター完成
令和元年度(2019)	協町南町伝建地区を構成要素に含む「藍のふるさと阿波～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～」が日本遺産に認定
令和6年度(2024)	美馬市うだつ未来館完成

(3) 保存地区の保存と整備

- 修理事業－104件(累計)
- 修景事業－9件(累計)
- 無電柱化
- 道路美装化
- 観光拠点整備

・案内板設置の例



・公園整備の例



・修理事業の例



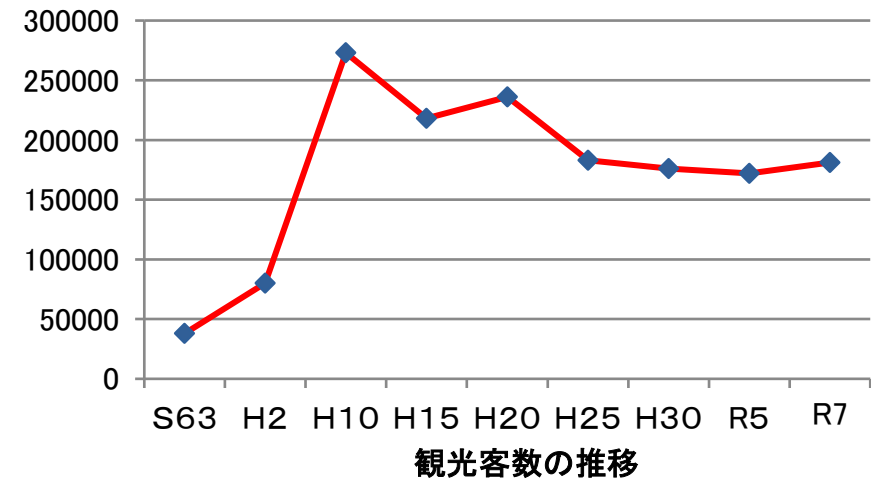
・無電柱化の例



(4) 保存地区の活用とまちづくり

その1 観光客の増加

観光客数(人)	
昭和63年(1988)	38, 000
平成 2年(1990)	80, 000
平成10年(1998)	273, 000
平成15年(2003)	218, 000
平成20年(2008)	236, 000
平成25年(2013)	183, 000
平成30年(2018)	176, 000
令和 5年(2023)	172, 000
令和 7年(2025)	181, 000



●地区内のイベント



華道家假屋崎省吾「うだつをいける」



阿波踊り



美馬市指定無形民俗文化財
「三味線餅つき」

うだつまつり

(4) 保存地区の活用とまちづくり

その2 伝統的建造物の活用とまちづくり

- 観光客向けの商店の増加
- 空き家を活用したサテライトオフィスの誘致
- 体験工房の整備



飲食・土産物販売店



宿泊施設



飲食店



美馬市うだつ未来館



観光交流センター



藍染体験工房

(5) 住民等の取組

●「南町町並み保存会」

重伝建選定前の昭和61年(1986)に設立。町並一斉清掃や花作りを行い、町並の景観の維持・向上に努めている。毎年行う研修会では他の伝建地区を視察し、町づくりの参考にしている。



花作り活動



鯉のぼりの飾り付け

●「脇町うだつの町並ボランティアガイド連絡会」

平成8年(1996)に設立。地元住民を中心とする会員で組織。伝建地区を訪れる観光客に対して地区内を案内している。ガイドマップや冊子を作成するなど観光客への取り組みを行っている。

